

お話の本文を読んで、別紙「記憶:お話の記憶 I」に取り組みます。 ※2022 年 I2 月 2 日(金)実施のオンライン授業では、録音音声を聞き取ります。

記憶:お話の記憶1

(本文)

明日はカメさんの誕生日です。お友だちのパンダさん、ブタさん、ネコさんが誕生日プレゼントをカメ さんに渡そうと相談しています。パンダさんは言いました。「速く走れる靴をあげたらどうかなぁ。」す ると、ブタさんが運動会のかけっこで、カメさんが一番最後だったことを思い出したので、「いいね! 私も靴がいいと思う。カメさんが速く走れる靴を履いたら、ネコさんよりも速くなるかもしれないよ。」 と言いました。ネコさんは「それはいい案だね。私より足の速いお友だちはいないから、一緒に競争し てみたい。だけど、僕たちカメさんの足の大きさを知らないよ。」と言いました。他の動物たちも、そう だなぁ、どうしようと悩んで、別のものを渡すことにしました。続けて、ネコさんが言いました。「そうい えば、カメさんは野菜が好きだったよね。みんなでゾウのおじさんのお店で売っている野菜を買って プレゼントしようよ。」すると、パンダさんが「ゾウのおじさんの作る野菜は、とってもおいしいよね。じゃ あ、みんなでカメさんにプレゼントする野菜を買いに行こうよ。」と言いました。意見が決まると、動物 たちはゾウのおじさんのお店に向かいました。お店の中はとても広くて、野菜コーナーがどこにある のか迷っていると、カバのおばさんが「お野菜を探しているのかい?なら、そこに見えているお菓子コ ーナーの隣にあるよ。」と教えてくれました。パンダさん、ブタさん、ネコさんは、カバのおばさんにお礼 を言って、カメさんにあげたいと思う野菜をそれぞれ探すことにしました。見つけた野菜は、パンダさ んがレタス、ブタさんがキュウリ、ネコさんがニンジンです。3匹は自分たちの持っているお小遣いを 合わせて野菜を買うために、レジに並びました。すると、ゾウのおじさんがお店の奥からやってきて、 「おお、よく来たね。そう言えば、カメさんの誕生日が近いんだよね。なら、サービスでほうれん草をつ けてあげるよ。」と言ってくれました。すると、ブタさんは「ありがとうございます。では、御代金を教えて ほしいです。」と言いました。ゾウのおじさんは「うん、では1つ 500 円だから、ぜんぶ合わせるといく つかな。」3匹はニコリとしてお金を払い、野菜を袋に詰めてお店を出ました。すると、ちょうど空から 雪が降ってきました。パンダさんは「うわぁ、雪だ。もうすぐクリスマスだから、雪がずっと降ってくれれ ばいいのになぁ。」他の動物たちも頷いて、おうちに帰りました。

(設問)

- ① かけっこが一番速い動物は誰でしょう。その絵に○をつけます。
- ② ブタさんが買った野菜にO、ネコさんが買った野菜に△をつけます。
- ③ プレゼントに払ったお金はいくらですか。その数だけ500円玉を〇で囲みます。
- ④ カメさんの誕生日にいちばん近い季節の絵に○をつけます。